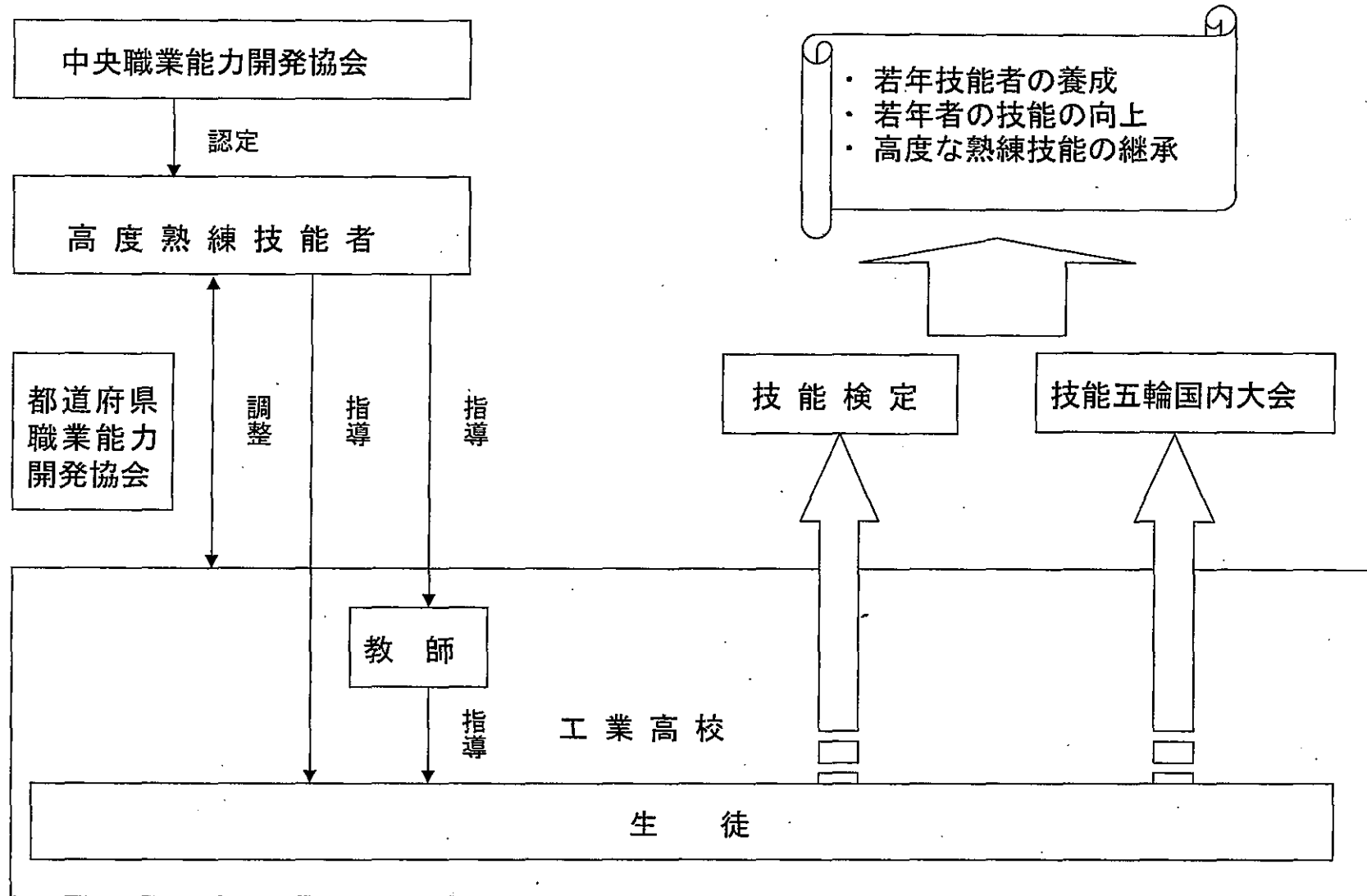


参考資料

工業高校等への高度熟練技能者派遣事業



内閣総理大臣表彰「ものづくり日本大賞」の創設について

文化庁、厚生労働省、経済産業省、国土交通省

- 我が国産業・文化の発展を支え、豊かな国民生活の形成に大きく貢献してきた「ものづくり」を着実に継承し、さらに発展させるためには、「製造現場のものづくり」や、伝統的な「匠」の技を支える人材の確保・育成が重要。このような人材の意欲を高めるとともに、その存在が広く社会に知られるようにしていく仕組みが必要。
- このため、ものづくりの中核を担う「脂の乗った」中堅人材や、伝統的・文化的な「技」を支えてきた熟練人材、今後を担う若年人材と各世代に渡り特に優秀な人材（「ものづくり名人」）に対して、内閣総理大臣が表彰を行う制度「ものづくり日本大賞」を創設する。チームワークの良さが日本の「ものづくり」を支えているとの観点から、個人だけではなく、グループも受賞の対象とする。
- 「ものづくり」に携わる方々が誇りを持って仕事に取り組むことができる社会、次代を担う若者や子供達が尊敬や憧れを抱いて、将来の仕事として「ものづくり」に関心を持てるような社会の実現を目指す。

表彰制度の概要①

開催頻度	2年に1回
対象者	特に優秀な成果をなした個人またはグループ。（分野によっては団体も対象）
選考方法	関係各省庁が、有識者等で構成される選考委員会の審査等を踏まえ、受賞者を選定。
表彰時期	平成17年8月に受賞者の発表、第1回表彰式を予定。
副賞	「ものづくり名人」のメダル・徽章を授与。（デザインを商標登録し、受賞者だけが使用することを可能とする。）

表彰制度の概要②(対象分野)

(1)産業・社会を支えるものづくり (経済産業省、国土交通省関係)	選考方法	総理大臣賞	担当大臣賞
<p>①製造・生産プロセス 製造技術の抜本的効率化により生産革命を実現。 (例:セル生産方式) [対象業種:素材、機械・情報、生活、建設]</p>	<p>革新性、効率性、技術レベル、経営貢献度、普及可能性、安全性等を基準に選考 [建設業以外を公募]</p>	<p>4名/グループ</p>	<p>12名/グループ [経済産業大臣賞] [国土交通大臣賞]</p>
<p>②製品・技術開発 高度な技術的課題を克服した画期的な商品・部品の開発。(例:新三種の神器) [対象業種:素材、機械・情報、生活、建設]</p>	<p>革新性、技術レベル、国民生活への影響度、経営貢献度、信頼性、環境優位性等を基準に選考 [建設業以外を公募]</p>	<p>4名/グループ</p>	<p>12名/グループ [経済産業大臣賞] [国土交通大臣賞]</p>
<p>③伝統技術の応用 伝統技術を応用した商品開発。(例:組紐技術を応用した燃料電池車用タンクの開発) [対象業種:素材、機械・情報、生活、建設]</p>	<p>革新性、技術レベル、経営貢献度、信頼性、環境優位性等を基準に選考 [建設業以外を公募]</p>	<p>1～2名/グループ</p>	<p>6名/グループ [経済産業大臣賞] [国土交通大臣賞]</p>
<p>(2)文化を支えるものづくり (文化庁関係)</p>			
<p>文化財の保存活用等及び芸術文化を支えるものづくり。</p>	<p>「文化庁長官表彰」のうち特に優れた者又は団体</p>	<p>1～2名/グループ</p>	<p>既存制度で実施 [文化庁長官賞]</p>
<p>(3)ものづくりを支える高度な技能 (厚生労働省、国土交通省関係)</p>			
<p>①ものづくりの現場を支える高度な技能 我が国の産業・社会におけるものづくりの現場を支える卓越した技能。</p>	<p>「現代の名工」「優秀施工者 国土交通大臣顕彰(建設マスター)」「海事関係功労者表彰」のうち特に優れた者</p>	<p>10名程度</p>	<p>既存制度で実施 [厚生労働大臣賞] [国土交通大臣賞]</p>
<p>②ものづくりの将来を担う高度な技能 国際的に高い評価を受けた若年労働者の高度な技能。</p>	<p>「技能五輪国際大会」の金メダリスト</p>	<p>5名程度</p>	<p>[厚生労働大臣賞] [国土交通大臣賞]</p>

卓越した技能者の表彰制度の概要

1 趣旨

卓越した技能者を表彰することにより、広く社会一般に技能尊重の気風を浸透させ、もって技能者の地位及び技能水準の向上を図るとともに、青少年がその適性に応じ、誇りと希望を持って技能労働者となり、その職業に精進する気運を高めることを目的としている。

2 被表彰者の決定

被表彰者は、都道府県知事、全国的な規模の事業を行う事業主団体その他当該表彰を受ける者の推薦に当たる者から推薦(個人推薦)のあった次の各号のすべての要件を満たす者のうちから、厚生労働大臣が技能者表彰審査委員の意見を聴いて決定する。

- ① きわめてすぐれた技能を有する者。
- ② 現に表彰に係る技能を要する職業に従事している者
- ③ 技能を通じて労働者の福祉の増進及び産業の発展に寄与した者
- ④ 他の技能者の模範と認められる者

3 表彰

表彰は、厚生労働大臣が毎年1回、概ね150名の被表彰者に表彰状、卓越技能章(楯及び徽章)及び褒賞金(10万円)を授与して行われる。

昭和42年度に第1回の表彰が行われて以来、本年度平成16年度の第38回の表彰までで4,238名が表彰された(平成7年度までは概ね100名を表彰し、平成8年度からは概ね150名を表彰している。)

職業能力開発関係厚生労働大臣表彰の概要

1 表彰の目的

① 認定職業訓練関係優良事業所、団体及び功労者の表彰

認定職業訓練の実施状況が極めて優良で他の模範となる事業所及び団体並びに認定職業訓練の振興・育成に多大の貢献があった功労者に対して厚生労働大臣表彰を行い、認定職業訓練の推進に資するとともに、職業能力開発促進法の趣旨の周知徹底を図る。

② 技能検定関係優良事業所、団体及び功労者の表彰

技能検定に関し、永年にわたり多大の貢献があり、他の模範となる事業所及び団体並びに技能検定委員等として永年にわたり従事、顕著な功績があった功労者に対して厚生労働大臣表彰を行い、技能検定の推進、技能水準の向上に資するとともに職業能力開発促進法の趣旨の周知徹底を図る。

③ 技能振興関係優良事業所及び団体の表彰

技能振興に関し、永年にわたり多大の貢献があり、他の模範となる事業所及び団体に対して厚生労働大臣表彰を行い、技能振興の推進、技能労働者の処遇・地位の向上に資するとともに職業能力開発促進法の趣旨の周知徹底を図る。

2 沿革

昭和29年度 認定職業訓練関係の優良事業所及び団体に対する表彰を実施

昭和51年度 認定職業訓練関係の功労者に対する表彰を実施

昭和52年度 技能検定関係の優良事業所及び団体並びに功労者に対する表彰を実施

平成7年度 技能振興関係の優良事業所及び団体に対する表彰を実施

3 表彰件数

① 認定職業訓練関係	(事業所)	(団体)	(功労者)
平成15年度	6所	8団体	34名
平成16年度	1所	7団体	32名
② 技能検定関係	(事業所)	(団体)	(功労者)
平成15年度	18所	26団体	99名
平成16年度	18所	26団体	95名
③ 技能振興関係	(事業所)	(団体)	
平成15年度	7所	7団体	
平成16年度	7所	10団体	

「ものづくり大学」について

1 設立の目的及び経緯

若者のものづくり離れや技能の継承が懸念される中で、ものづくりを担う人材として技術・技能の双方に通じ、かつ、マネジメントもできる新しいタイプの人材を育成することを目的として、国、自治体、産業界の支援により平成13年4月1日に開学した。

2 大学の概要

(1) 名称

学校法人国際技能工芸機構 ものづくり大学

(2) 所在地及び敷地面積

埼玉県行田市前谷333番地 (約12ha)

(3) 総長及び学長

総長 梅原 猛 (哲学者・国際日本文化センター顧問)

学長 野村東太 (前横浜国立大学学長)

(4) 学部・学科等

大学については、技能工芸学部を置き、製造技能工芸学科と建設技能工芸学科からなる。

① 製造技能工芸学科 (1学年定員180名)

② 建設技能工芸学科 (1学年定員180名)

また大学院については、ものづくり学研究科を置き、ものづくり学専攻からなる。

(5) 在籍者数 (平成17年4月1日現在)

	1年生	2年生	3年生	4年生	合計
大学	379名	334名	331名	366名	1,410名
製造技能工芸学科	180名	139名	151名	155名	625名
建設技能工芸学科	199名	195名	180名	211名	785名
大学院					
ものづくり学専攻	9名				9名

(6) 主な特徴

① 教員の約7割が産業界出身

優れた知識と技能技術が欠かせないため様々な産業界で活躍してきた人材を教員に登用。

② 授業の約7割が実習、実験、演習

ものづくりに直結する実技教育を重視しており、授業全体の約7割が実習、実験、演習。

③ インターンシップのカリキュラムへの本格的導入

4年間で約6か月～約9か月のインターンシップを実施し、単位を認定。

④ 社会人の積極的な受入れ

社会人入試に加え、3年次への編入学や年度の途中の入学、科目履修など、社会人のニーズに合った入学方法、履修方法を選択できる環境を整備。

3 16年度卒業生の就職状況等について

(単位：人、%)

	① 卒業生人 数	② 公務員内 定者	③ 大学院進 学者	④ その他進 学者	⑤ 民間就職 希望者	⑥ ⑤のうち 内定者	⑦ 民間就職内 定率 (⑥/⑤)
製造技能工学学科	127人	0人	5人	4人	111人	106人	95%
建設技能工学学科	127人	1人	11人	0人	105人	97人	92%
合 計	254人	1人	16人	4人	216人	203人	94%

※平成17年3月31日現在

4 ものづくり大学の入学者の推移

	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度
製造技能工学学科	175人	130人	155人	141人	180人
建設技能工学学科	181人	207人	193人	201人	199人
合 計	356人	337人	348人	342人	379人

技能継承等支援センターの連携のイメージ

中小企業（課題）・技能継承、現場力強化の問題点の把握（技能マップの作成等）
・技能継承、現場力強化のための計画の策定
・関係機関との連携、各種施策の活用による技能継承



情報提供・相談援助

技能継承等支援センター（新規）

都道府県職業能力開発協会

・高度熟練技能者の活用

商工会議所・業界団体等

・独自のセミナー・講習会、支援事業 等

公共職業能力開発施設、教育訓練施設

・実践的な教育訓練

ハローワーク

・技能労働者の雇い入れ

（独）雇用・能力開発機構都道府県センター

・各種助成金（中小企業雇用創出等能力開発助成金等）

技能検定職種一覧表(137職種)

平成17年4月現在

	技能検定職種
建設関係	造園、さく井、建築板金、冷凍空気調和機器施工、石材施工、建築大工、枠組壁建築、かわらぶき、とび、左官、れんが積み、築炉、ブロック建築、エーエルシーパネル施工、コンクリート積みブロック施工、タイル張り、配管、浴槽設備施工、厨房設備施工、型枠施工、鉄筋施工、コンクリート圧送施工、防水施工、樹脂接着剤注入施工、内装仕上げ施工、スレート施工、熱絶縁施工、カーテンウォール施工、サッシ施工、自動ドア施工、バルコニー施工、ガラス施工、ウェルポイント施工、建築図面製作、塗装、路面標示施工、広告美術仕上げ
窯業・土石関係	ガラス製品製造、ほうろう加工、陶磁器製造、ファインセラミックス製品製造
金属加工関係	金属溶解、鋳造、鍛造、金属熱処理、粉末冶金、機械加工、放電加工、金型製作、金属プレス加工、鉄工、工場板金、工業彫刻、めっき、アルミニウム陽極酸化処理、溶射、金属ばね製造、仕上げ、金属研磨仕上げ、切削工具研削、製材のこ目立て、ダイカスト、金属材料試験
一般機械器具関係	機械検査、機械保全、産業車両整備、鉄道車両製造・整備、内燃機関組立て、空気圧装置組立て、油圧装置調整、縫製機械整備、建設機械整備、農業機械整備、木工機械整備、テクニカルイラストレーション、機械・プラント製図
電気・精密機械器具関係	電子回路接続、電子機器組立て、電気機器組立て、半導体製品製造、プリント配線板製造、家庭用電気治療器調整、自動販売機調整、光学機器製造、複写機組立て、電気製図
食料品関係	パン製造、菓子製造、製麺、ハム・ソーセージ・ベーコン製造、水産練り製品製造、みそ製造、酒造
衣服・繊維製品関係	染色、ニット製品製造、婦人子供服製造、紳士服製造、和裁、寝具製作、帆布製品製造、布はく縫製
木材・木製品・紙加工品関係	機械木工、木型製作、家具製作、建具製作、竹工芸、紙器・段ボール箱製造、畳製作、漆器製造、表装
プラスチック製品関係	プラスチック成形、強化プラスチック成形
貴金属・装身具関係	時計修理、貴金属装身具製作
印刷製本関係	製版、印刷、製本
その他	ファイナンシャル・プランニング、金融窓口サービス、レストランサービス、ビル設備管理、園芸装飾、ロープ加工、情報配線施工、化学分析、印章彫刻、ガラス用フィルム施工、塗料調色、義肢・装具製作、舞台機構調整、工業包装、写真、調理、ビルクリーニング、産業洗浄、商品装飾展示、フラワー装飾

注：下線の8職種については、指定試験機関（民間機関）において実施。